



減らそう犯罪通信

平成21年11月号

発行・編集

広島県警察本部
減らそう犯罪推進室
〒730-8507
広島市中区基町9-42
TEL 082(228)0110
FAX 082(222)7902

「ボランティアのための広島県警察白書」の発行

この度、本年上半期における県警察の活動をまとめた「ボランティアのための広島県警察白書」を作成しました。

この白書は、県民の皆様には県警察が取り組んでいる主要な業務を紹介し、ご理解していただくとともに、特に、県民の安全と安心のために献身的な活動をされているボランティアの皆様には、いろいろな場面でご活用いただきたいという思いを込め作成しております。皆様の活動の一助としてください。

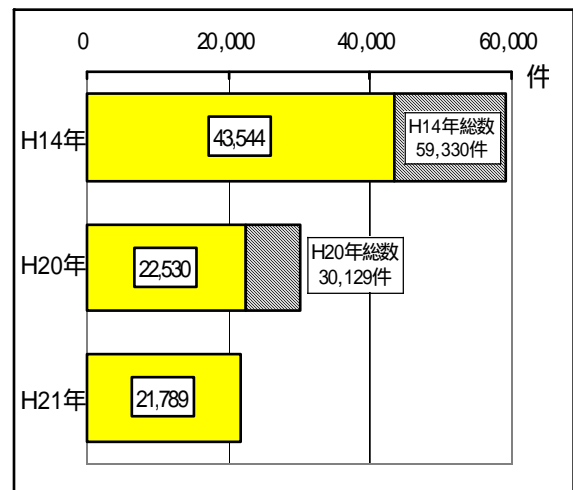
なお、本書を更に御入り用の場合は、各警察署に申し込んでください。また、県警ホームページにも掲載しています。

県内の刑法犯認知状況(9月末現在)

県内の刑法犯認知件数は、平成14年同期比で、21,755件(-50.0%)、前年同期比で、741件(-3.3%)それぞれ減少しています。

手口別では、総認知件数の24.4%を占める「自転車盗」が、5,325件で前年同期比331件(6.6%)増加しています。また、「ひったくり」は253件で、前年同期比121件(91.7%)とほぼ倍増しています。

「振り込め詐欺」は、110件、被害額は約6,500万円で、前年同期比267件(-70.8%)、約4億2,300万円(-86.8%)と認知件数、被害額ともに大幅に減少しています。



県内の交通事故発生状況(9月末現在)

前年同期比では、事故件数は減少しているものの、死者数は増加しています。

特徴としては、死亡事故に高齢者が占める割合が42.7%と既に前年(H20中、39.1%)よりも高くなっています。

時間帯別では、朝6時から8時に多発し、状態別では自転車乗車中(15人、前年同期比+8人)、歩行中(32人、前年同期比+10人)が大幅に増加しています。

例年、これから年末にかけて交通事故が多発する傾向にあります。早朝や夜間は、反射材を身につけるなど、交通事故に遭わないよう心掛けましょう。

区分	H21.9末	H20.9末	前年同期比		
			増減数	増減率	
事故件数	12,635件	12,834件	-199件	-1.6%	
死者数	103人	94人	9人	9.6%	
負傷者数	16,068人	16,146人	-78人	-0.5%	
高齢者	事故件数(1当+2当)	3,549件	3,319件	230件	6.9%
	死者数	44人	35人	9人	25.7%
飲酒	事故件数(1当)	113件	110件	3件	2.7%
	死者数	8人	9人	-1人	-11.1%

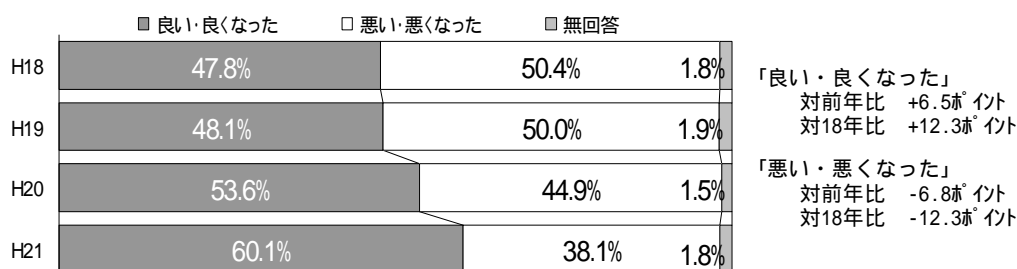
注：飲酒による事故件数とは、第1当事者側(自転車以上)に飲酒が認められた件数を示し、死者数は、当該事故における全死者数を示す。

安全・安心情報テレホン 082-223-3746 (二人三脚でみな知ろう)

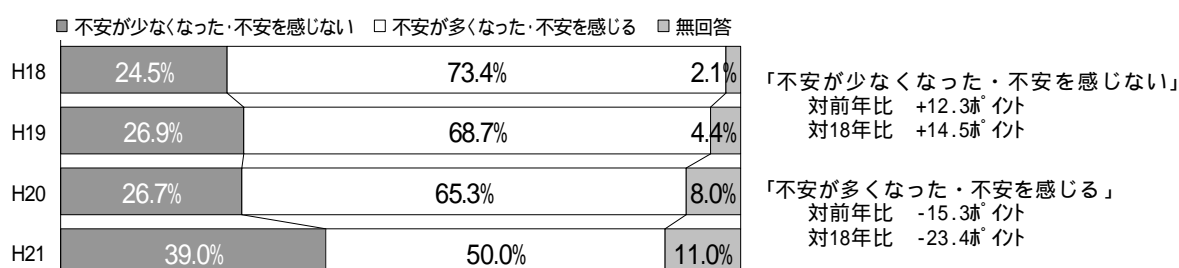
第7回「減らそう犯罪」県民アンケートの実施結果

運転免許センターや警察署に免許更新手続きに来られた方を対象としてアンケートを実施しました。集計結果の主なものは、次のとおりです。

居住地域における治安(居住地域の治安は、概ね5年前と比べてどうですか?)



犯罪被害に対する不安感(この5年間で、犯罪被害への不安感はどうですか?)



県警察では、このアンケートの結果を踏まえ、引き続き、「だれもが“安全・安心”を実感できる広島県の実現」に向け、街頭活動の強化や効果的な情報発信活動の推進などの各種施策に取り組むこととしています。

「ひったくり」防止対策の推進状況

本年に入り増加傾向にあります「ひったくり」は、その大半が都市部で集中して発生しており、広島市と福山市で全体の約80%が発生しています。主な被害の特徴は、被害者の91%が女性で、47.4%は「自転車の前後カゴ内」のバック等が被害に遭っています。

ひったくり事件は、被害者の身体へも危害が及ぶ危険性が高い犯罪です。こうした中、県警察では、本年7月以降、関係機関・団体等の協力を得て、「ひったくり撲滅キャンペーン」、白バイを活用した「ひったくり撲滅」の広報活動、広島市民球場の大型ビジョンを活用した注意喚起広報や、「総合防犯警戒員」、「夜間防犯活動員」による警戒活動、バス・市内電車等の車内への被害防止啓発ポスターの掲示などの被害防止対策を実施しました。しかし、10月中も、散発的ですが、ひったくりの被害が発生しており、依然として、自転車への「防犯ネットの装着」など、防犯行動をとっておられない方も多く見られます。今後も関係機関・団体の協力を得て、被害防止に向けた広報啓発活動を実施するとともに、検挙活動を強化し、ひったくりの撲滅を図ることとしています。

